

engawa

engawa

体験型

勝部里菜/中澤満/益子宗/内山俊朗 2017年

本作品は、空間内部の様子を可視化し、外部に発信する作品である。展示空間にいる人々の姿勢情報を3Dの仮想空間上にプロットし、現実世界と仮想世界を融合させた映像を生成する。この映像をライブ配信することで、本会場にいる人々のプライバシーを守りつつ、空間内部の様子を世界中の視聴者にリアルタイムに届ける。

【勝部里菜】筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻(博士前期課程) 【中澤満】楽天株式会社 楽天技術研究所 【益子宗】楽天株式会社 楽天技術研究所/筑波大学芸術系客員准教授 【内山俊朗】筑波大学芸術系准教授

触れた断面



触れた断面

体験型

あたり 2018年

無機物の存在に人間存在の有機特徴を付与してみる。一方が姿を隠すと、もう一方がその行方を探そうに光を発する。ふたつの存在はどこかよそよそしい距離を保ちながら、お互いにその存在を確かめ合ってここにいる。同じように私という存在は、「あなた」がいて初めて生まれてくる。

【あたり】2018年、筑波大学人間総合科学研究科芸術専攻の学生を中心に結成されたアート制作チーム。造形、メディア設計、文筆、など、メンバーそれぞれが得意分野を持ち、それらを組み合わせて作品を作る。現在は浮遊、ポップ、静けさ等をキーワードに制作中。SICF18出展、ギャラリー TAGBOATに取扱作家として所属。

ヘルモンプロジェクト

一部体験型

ヘルモンプロジェクト(メンバーは以下記載) 2018年

筑波大学芸術と医療従事者、つくばテーブルゲーム交流協会による、児童を中心とした、生活習慣病予防プログラムの開発プロジェクト。

【村上史明】筑波大学芸術系
【鈴木康裕】日浅健太 筑波大学附属病院
【新井良輔】牛久愛和総合病院
【上村忠正】湖南病院
【堀内菜穂】アーティスト 【石山望】会社員
【矢ヶ部優希】高木凜 【内海士門】青木航大 【山本百華】筑波大学芸術専門学群
【高野大】福田哲郎 【吉川健人】亀沢和史 【中山香介】つくばテーブルゲーム交流協会

Coded Skeleton

岩船美友/大嶋泰介/落合陽一 2016年
筑波大学デジタルネイチャー推進戦略研究基盤

しなやかな筋肉、精微な歯車、風を切る羽根。我々の周囲にある動きを内包した構造は美しい。このプロジェクトで我々は動きを構造の一部として印刷する。従来静的であった3Dプリンターオブジェクトにアクチュエータとして動く構造を内包した。静的な構造とダイナミックな動きの組み合わせを物質として表現した。

【岩船美友】筑波大学図書館情報メディア研究科在学中。落合陽一が主宰する研究室でデジタルファブリケーションの研究に従事。【大嶋泰介】東京大学博士課程単位取得退学。Nature Architects Inc. CEO。メカニカルメタマテリアル・コンピューショナルデザインなどの研究に従事。

【落合陽一】筑波大学准教授/メディアアーティスト/Pixie Dust Technologies, Inc. CEO。筑波大学でメディア芸術を学び、東京大学で学際情報学の博士号を早期終了で修得。



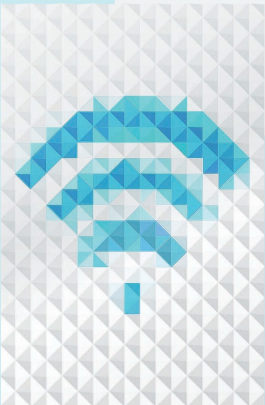
Coded Skeleton

和ifi

高松航希/及川雄大/奥原薫/青木航大/江永夢叶
原涼/比留間未桜 2018年

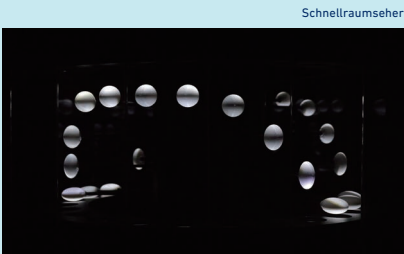
音楽と映像表現の新たな展開を模索した。媒体(メディア)の枠を超えた表現を目と耳で楽しんでもらいたい。

【高松航希】 【及川雄大】 【奥原薫】 【青木航大】 【江永夢叶】 【原涼】 【比留間未桜】 筑波大学芸術専門学群総合造形領域



和ifi

Lights out



Schnellraumseher

Schnellraumseher

鈴木健太 2018年

Schnellraumseherは、空間・時間的に操作可能な空間アニメーションを再生するメディア装置です。本メディア装置は、映画が誕生する以前に発明されたElektrischer Schnellseherを改良したものであり、映像という文化の中で誕生したアニメーション表現の可能性を拡張します。

【鈴木健太】筑波大学情報メディア創成学類4年。メディアクリエイター。1995年生まれ。愛知県出身。文化、技術、表現の相互関係をテーマにメディア装置を用いた作品制作・発明・研究を行う。2015年より2年間、筑波大学内のプログラムにて研究をおこなう傍ら、メディアアーティスト落合陽一より指導を受ける。2017年より個人のメディアクリエイターとしての活動を開始。クマ財団クリエイター奨学生、DMM. make AKIBA Scholarshipなどに採択される。

nemurium

体験型

勝部里菜/望月愛海/内山俊朗 2018年

nemuriumは眠りから生まれるインスタレーションです。カーテンの中に入るとベッドがあり、そこでは自分の寝る姿が星座として天井に投影され、星の輝く音が空間をつつみます。当たり前毎日繰り返している「眠る」という本来やさしくてあたたかい、生きるための行為に改めて向かい合う空間です。

【勝部里菜】 【内山俊朗】 ※1「engawa」に記載
【望月愛海】筑波大学芸術専門学群卒業(デザイン専攻)



nemurium

Lights out

体験型

高橋遼/山梨由理/山本百華/Isabel Faccini 2017年

光センサーを利用し、光を当てるのではなく光からセンサーを隠すことでキャラクターを操作する新感覚ホラーゲームです。夢に迷い込んだ女の子をろうそく型デバイスをういて操作し、ゴールを目指します。人形をモチーフとした世界観やストーリー、キャラのビジュアルも必見です。

【高橋遼】筑波大学情報学群情報メディア創成学類
【山梨由理】 【山本百華】 【Isabel Faccini】
筑波大学芸術専門学群

Life in the Space Age: Experiments of Art and Technology in Zero-Gravity

2016~2017年

Organization and Curation: Alberto Boem Direction: Osaka Takuro
Artists: Alberto Boem, John Brumley, Karlos Ishac, Xie Chun, Felix Dollack, Nihida Jun, Takatori Hikaru, Takashima Rintaro, Sano Yuji, Shikine Nobumitsu, Tone Tadayuki, Oozu Takeshi, Sugimoto Minatsu, Ph.D. Program in Empowerment Informatics, University of Tsukuba Japan Space Forum

「宇宙芸術ワークショップ」は2016~17年に筑波大学エンパワーメント情報学プログラムにて実施され、ここでは宇宙研究の学際的活動としての拡大を狙い、科学実験に限定せず芸術、思想、発明等の多様な視点からの宇宙実験を行い、表現、想像力等を含む人間の生活や文化に関わる問題にも注目されている作品である。

【Alberto Boem (IT)】メディアアーティスト、研究者。筑波大学エンパワーメント情報学プログラム在籍。
【John Brumley (USA)】 【Karlos Ishac (AU)】 【Xie Chun (CN)】 【Felix Dollack (DE)】 【西田惇】 【大岡岳】 【佐野祐士】 【数根伸光】 【杉本実夏】 【高嶋倫太郎】 【高島光】 【利根忠幸】 筑波大学エンパワーメント情報学プログラム在籍。
【逢坂卓郎】 ※17「Angle」に記載。



Life in the Space Age: Experiments of Art and Technology in Zero-Gravity

Walkaholic 2

体験型

杉本実夏 2017年

Walkaholicは人間を発電機に変えるシステムです。人間が歩くだけで電気が生み出せたら、どんな世界になるでしょうか。この作品では、足首ウェアラブル発電機のインターフェースのプロトタイプとその発電を促進するシステムを紹介します。

【杉本実夏】筑波大学大学院エンパワーメント情報学プログラム2年生。大学で足首発電デバイスの研究をする傍ら、デザイン×工学をテーマに医療や人間の健康に関する領域においてデザイン制作を行う。Ars Electronica Festival 2017、Speculum Artium 2017にて海外展示。



Walkaholic 2



Darumail

Darumail

体験型

櫻井亮汰/内山俊朗 2018年

目を入れて願いを込め、叶うまで見守り続ける日本の縁起物「だるま」。Darumailは手書きでの目入れと画像認識によるARを組み合わせた、応援する気持ちを送る次世代のだるまです。“願い”が込められたDarumailをアプリ上で認識させることでARメッセージを見ることが出来ます。

【櫻井亮汰】筑波大学大学院人間総合科学研究科感性認知脳科学専攻博士前期課程1年 【内山俊朗】 ※1「engawa」に記載

作家過去作品(2017年制作)



あなたとなかよくなりた

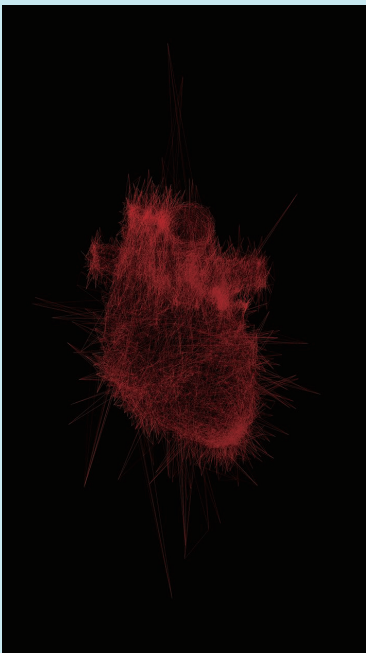
体験型

堀内菜穂/技術協力:村上史明 2018年

誰とでも手軽につながっている感じになって、つながることによって価値を見出している今日この時に、誰に見せるわけでもなく、うさぎはあなたと仲良くなりたいがっっていますよ。

【堀内菜穂】2016年筑波大学芸術専門学群構成専攻総合造形領域卒業。卒業後はフリーランスで制作・展示活動をしている。

Heart



COLOR BLASTER

特別招待作品

Heart

Pascal Haudressy 2009年

「Heart(心臓)」は、Pascal Haudressy氏の「臓器シリーズ」のひとつであり、睡眠あるいは瞑想状態を幾何学的に表現した作品。コンピューターに見られる欠陥やバグを利用し、心臓に与える予測不能な変化を作り出している。

【Pascal Haudressy】パリ出身の芸術家。動的、素材、非素材なものに新しいイメージを生み出す先駆者として、他の追随を許さないその芸術性が大きく評価されている。生物学的実体と仮想生命体が、これまでにないほど共存しているこの世界の移り変わりを模索している彼の作品は、過去と未来、自然と人間活動といった相対する概念の繋がりや形にしたものである。